

国際がん研究機関（IARC）の電波の発がん性評価結果について

世界保健機関（WHO）のがん研究専門組織である国際がん研究機関（IARC）はこのたび、我が国を含む世界 14 カ国から参加した 31 人の専門家による検討会を開催し、携帯電話などの無線通信やTV・ラジオ放送などに用いられる電波を含む、無線周波（RF：100kHz から 300GHz まで）の電磁界の人に対する発がん性評価を実施し、「人に対して発がん性があるかも知れない」（グループ 2B）と評価したと発表しました<sup>1</sup>。

電磁環境委員会は、この評価結果について次のように考えます。

- ◎ 携帯電話を初めとする無線機器は、健康への悪影響を心配せずに従来と同様に皆様方に安心してご利用いただけます。
- ◎ 電波の人体への影響について、我が国をはじめ世界中で多くの研究が行われてきました。電磁環境委員会は、引き続き皆様に安心していただけるよう、各分野の専門家と協力して研究を継続して行い、正しい情報を提供してまいります。
- ◎ IARC の評価結果（グループ 2B）は、電波に発がん性がないと断定することは現時点でのデータからは困難であると示唆したものと考えます。

電磁界による健康影響を回避するため、国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）は、1998 年に電波防護のための国際ガイドラインを定めており、WHO もこのガイドラインを推奨しています。2010 年にも ICNIRP は、国際ガイドラインは妥当とする見解を改めて示しています。これまで、WHO を含む国際機関及び各国の研究機関は、「国際ガイドライン以下の強さの電波によって健康への悪影響を示唆する確固たる証拠はない」との見解を発表しています。我が国でも国際ガイドラインと同等の基準を有する電波防護指針が定められています。電波産業会としては、この電波防護指針を遵守してまいります。

以上

本件に関するお問合せ先：  
一般社団法人 電波産業会 電磁環境委員会  
TEL：03-5510-8596  
FAX：03-3592-1103  
E-mail：em-info@ml.arib.or.jp

---

<sup>1</sup> 国際がん研究機関（IARC）2011 年（平成 23 年）5 月 31 日付報道発表 No.208、「IARC は無線周波電磁界を人に対して発がん性があるかも知れないと分類」  
International Agency for Research on Cancer. 31 May 2011. Press Release No.208. IARC classifies radiofrequency electromagnetic fields as possibly carcinogenic to humans.  
[http://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2011/pdfs/pr208\\_E.pdf](http://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2011/pdfs/pr208_E.pdf)